

## 令和3年度事業計画書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

公益財団法人としての9年目にあたり、公益事業のなお一層の拡充のため、各役員会等で情報収集・協議検討を重ね、三重県医療保健部医療保健総務課の指導・監督の下、事業の検討・推進を図っていく。ただし新型コロナウイルス感染症がいまだに終息してない状況の中で、何よりも当法人内での感染がないようお参りや行事など、三重県の感染対策のガイドラインに準じて対応していく。

令和3年度の事業は、前年の内容を継続して次のとおり計画する。

### 1 納骨堂の管理運営事業

納骨堂の使用権の公募活動に関して

- ・年2回行う合同法要をお彼岸の中日（9月23日・3月21日）に行う。

新型コロナウイルスの終息もまだわからない中、来年度も引き続き中止ということもあり得るが、昨年度は2回とも中止となったわけで、是非とも開催して欲しいという声も多く、三重県のガイドラインに沿ってやるやらないも含めて判断し、実施できる場合も来訪する人に対して感染症対策を厳密に対応して実施していく。

- ・東屋が建築25年以上経過しているので、修理修繕箇所が増えているが、来年度は、クーラーが2箇所壊れているので夏までに新品に入れ替える。また、東屋の入り口右のサッシのドアが開け閉めしにくくなっているので、修繕する。
- ・当法人の設立意義の納骨堂の管理運営事業による納骨堂の需要が社会的に増してくることが予想され、なお一層ホームページを充実し、広く存在を公表し、納骨堂の使用権を公募する。

## 2 墓地公園緑地に関する事業

- ・お参り用の生花の需要が多くなってきたことで、今年度緑化事業として花畑を造成したが、菊の株が一杯になってきているので株分けと、新規の新しい品種と花の色の種類を増やすために菊の株を購入して定植する。
- ・26年度に植栽した雑木林が里山的雰囲気醸し出すようになったが、昨今イノシシや鹿やアライグマなどの野生動物が雑木林に来て、雑木に対していたずらをする被害が多発して、周囲の柵を設置して被害をなくし、成長を促し、立派な里山になるよう日常の管理を徹底していく。
- ・今年度は新型コロナウイルス感染拡大により中止になったが、毎年6月恒例の行事になってきている、いがまちまちづくり協議会主催の「あじさいウォーキング」が散策しているが、来年度開催されるなら引き続き受け入れて楽しんでもらう。

## 2 その他、本会の目的を達成するために必要な事業

公益財団法人としての9年目に向かい、書類の作成、会計帳簿、役員会の開催等をその基準に対応して、コンプライアンス・情報公開を念頭に遵守していく法人としての確立を目指す。